

輸出事業計画

※申請者名：協同組合青森県黒にんにく協会、品目：黒にんにく

1. 輸出における現状と課題

【現 状】

「青森の黒にんにく」は、フランス・リヨン「SIRHA2013」で世界に先駆けて黒にんにくを発表したこと、2016年に米国を中心に輸出額を大きく伸ばしたが、海外産黒にんにくの生産の本格化や有機化への遅れから2024年では1000万円未満にまで縮小。対応として料理素材としてニーズのあるドイツ、フランスをターゲットに、有機JAS取得での黒にんにく市場参入を計画。

【課 題】※ドイツ、フランス共通

- ドイツ・フランスのプレミアム市場進出には、GI登録を活かす上で、有機JAS認証の取得、EUプラスチック規制に対応が課題となる。
- 有機ニンニクの生産と黒にんにくへの加工のため、それぞれ生産と加工での「生産工程管理者」の認証取得が必要。
- EUプラスチック規制に対応し、非プラスチック包材へ切替のため生産設備の変更が必要。
- さらに物流・商流の構築と海外産黒にんにくとの差別化が必要となる。

〔生 産〕

- ・「生産工程管理者」の認証取得…今後生産するニンニクを有機農産物と表示するため、「生産工程管理者」の認証取得が必要。

〔加 工〕

- ・「生産工程管理者」の認証取得…JAS法に規定する有機加工食品を製造する者となるため、「生産工程管理者」の認証取得が必要。また、輸出先国から輸出先国の有機（オーガニック）認証を受けたことを示す表示の求めがあったときにはJAS法12条の2の規定に基づく「外国格付けの表示を付する取扱業者」の認証取得について検討を行う必要がある。

- ・生産設備の変更…非プラスチック包材へ切替のため生産設備の変更、あるいは新規設備投資が必要となる。

〔物 流・商 流〕

- ・現地価格等の提示…輸出に取り組む組合員6社のうち2社は海外取引実績がなく、貿易商社とのつながりがなく物流コスト、現地での価格提示ができない。

〔販 売〕

- ・価格競争の激化と差別化…中国、ベトナムなど的一片種黒ニンニク製造企業、ドイツ、フランスの現地での黒ニンニク製造企業との競合が厳しくなってきている。

2. 輸出事業計画の取組内容

- 計画期間内に、輸出に取り組む6社が有機加工食品の認証を得て、「有機黒にんにく」の製造販売を実施する。

- 2025年第2四半期までに6社が、生分解プラスチックあるいは紙製のパッケージに切り替えることでEUプラスチック規制に対応する。

- 計画期間内に自社圃場を有する4社が、自社圃場の有機JAS認証を受ける。

【取組内容】※ドイツ、フランス共通

〔生 産〕

- ・令和10年9月までに、自社圃場を有する4社は有機ニンニクを生産するため（有機農産物）「生産工程管理者」の認証取得を行う。

〔加 工〕

- ・令和8年9月までに全6社が黒ニンニクを製造するため（有機加工食品）「生産工程管理者」の認証取得を行う。

- ・令和8年8月までに全6社が計量充填機等の包装資材の切替に伴う設備投資を行う。

〔物 流・商 流〕

- ・国、県等で開催するEU圏バイヤー招聘商談会へ参加し、6組合員すべてが貿易商社とつながりを持ち、20ftコンテナの積載量約30m³をフルコンテナにした場合の海上輸送経費や税と国内輸出商社口銭及びフランス、ドイツの輸入卸業者口銭から、間接貿易のc/s当り、商品1点当たりのおおまかな価格を算出することで国内港渡し値、現地輸入卸業者への渡し値、現地最終バイヤーへの渡し値のバイヤーポジション毎の目安金額提示を可能とする。

〔販 売〕

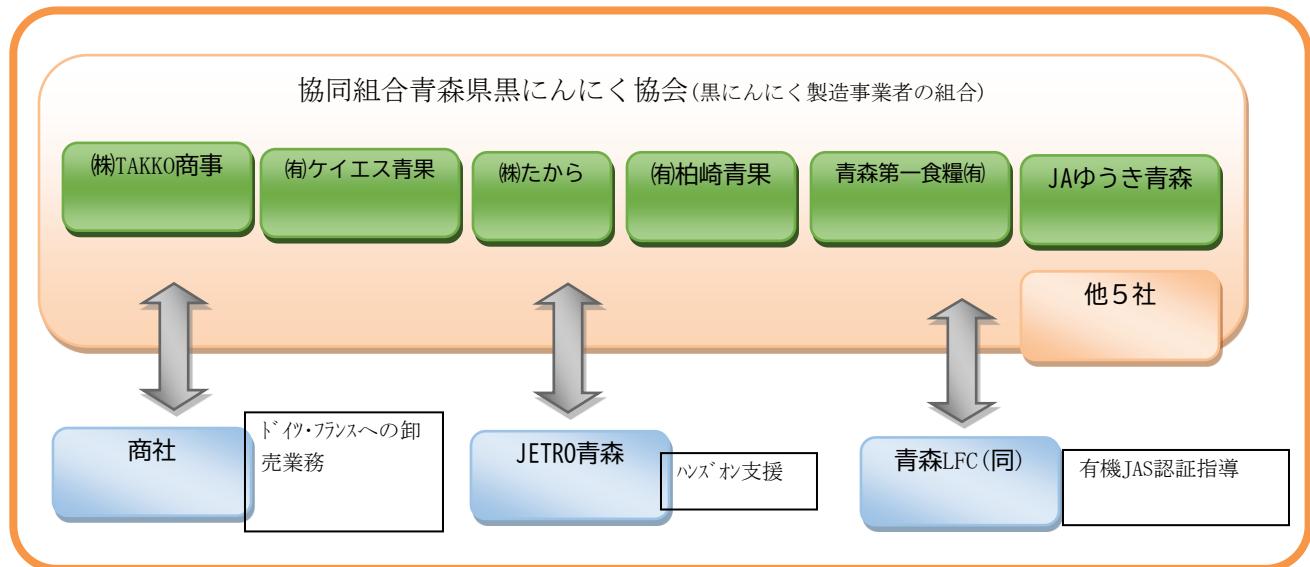
- ・中国などの一片種に対しては含水率による料理面での活用のしやすさを、ドイツ、フランス現地黒ニンニク製造企業に対しては甘み、鱗片の大きさ、機能性成分含量の提示、GI登録產品であることで差別化する。

	令和7年度				令和8年度				令和9年度				令和10年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
生産、製造、加工																
EUプラスチック規制対応	全社対応															
有機加工食品認証	TAKKO、第一食糧、柏崎青果					ケイエス青果、たから							IAゆうき青森			
自社圃場有機JAS認証													TAKKO商事、ケイエス青果、たから、柏崎			
物流・商流																
商談会・展示会		招聘商談会・ANUGA2025	展示会				展示会			展示会			展示会		展示会	
販売																
有機黒にんにくの販売																
予定輸出先国	ドイツ、フランス				ドイツ、フランス				ドイツ、フランス				ドイツ、フランス			
目標輸出金額	1,055万円				1,647万円				2,271万円				2,861万円			

輸出事業計画

※申請者名：協同組合青森県黒にんにく協会、品目：黒にんにく

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	現状（令和6年度）	目標年（令和10年度）
輸出額（千円）	3, 524	28, 613
輸出量（kg）	659	5, 397
輸出先国	フランス	フランス、ドイツ